



ほけんだより

20年度6月号
明照保育園



【子どもの健康状態】

6月中の主な欠席理由は発熱でした。中には熱が続き肺炎で入院した子もいました。感染症の報告としては、溶連菌感染症（幼児1人乳児1人）、ヘルパンギーナ（幼児1人）、結膜炎（乳児1人）がありました。他に、下痢（4人）、ぜんそく（1人）でした。これから水いぼやとびひなどの皮膚病に注意が必要です。園医の市川先生より、この時期のすり傷・切り傷などからの傷病みをしないようにするためには、『清潔にすることが一番！！』だそうです。

【溶連菌感染症とは】高熱から始まり、2~3日たつと発疹が

高熱が1週間近く続いたり、真っ赤な発疹やイチゴ舌など川崎病とよく似た症状が出ます。また、のどの炎症が強いため、食欲が落ちてきます。発熱から2~3日たつと、高熱のまま細かい発疹が全身に出ます。



【歯科健診結果】

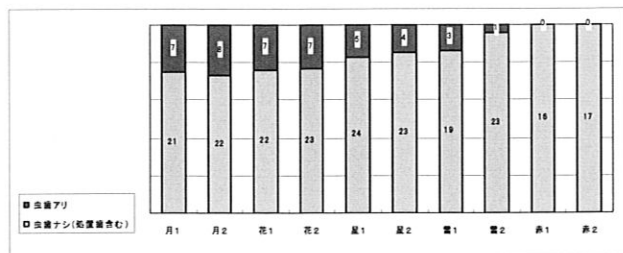


6月19日と26日に嘱託歯科医の山本先生による歯科健診があり、252人が受診しました。結果はおたより帳に記入してあります。虫歯のひどい方はお知らせしていますのですぐに治療を始めてください。★乳歯の虫歯は永久歯にも悪影響をもたらします★お休みされたお子さんは、個人で健診を受けてください。

★ 虫歯のある子が

252人中42人でした★

右記のグラフは、虫歯のある子とない子の数をクラス別に示し、相対的に表したものです。



★かみ合わせに問題がある子がいました★

かみ合わせに問題があると、将来小児の肩こりや腰痛などを起こし、生活にも影響することがあります。治療には適切な時期がありますので、歯科のホームドクターをもち定期的な健診をおすすめします。しかし、子どもの歯は、生えたり抜けたり永久歯が生えたりと、歯の数やあごの発達により、かみ合わせも変化していきますので、乳歯のうちは様子をみていけばよいでしょう。



- ① 開咬（かいこう）：前歯の上下がかみ合わない。指しゃぶりやおしゃぶりを続けることが原因になることがほとんど。
- ② 反対咬合：下の前歯が出ている。受け口。切端咬合のひとつのもの。

★その他★

- ① ゆ合歯：先天的に2本の歯が1本になって生えている。特に問題はないが、普通の歯よりギザギザしているので、虫歯になりやすい為注意が必要である。
- ② 先天欠如：生えてくるはずの歯が、先天的に欠如している。
- ③ サホライド：進行止め。歯医者で進行止めを塗ってもらっている。
- ④ 軟組織異常：上唇と歯ぐきの間のつなぎ目が短く、切った方がいい場合もある。
- ⑤ 過剰歯：一本の歯が二本重なっているような形をしている。
- ⑥ 要注意乳歯：乳歯がグラグラ。永久歯が生えてきているので抜いた方がいい。

★☆☆ 山本先生よりアドバイスを頂きました ☆☆☆

- ★ 2才までに親から食べ物の口うつしをしない！！（虫歯菌を子どもの口に入れない）
- ★ 2才までは極力甘い物を与えない！！（味を覚えさせなければ欲しがらないのでチョコやアメなど長い間口の中に残る物はよくない。
- ★ 毎日の仕上げみがきをしっかりと！！（幼児期の虫歯は大人の責任です）



【プールにむけて】

蒸し暑い日が続き、プール開きが待ち遠しいですね。7月1日（火）を予定しています。

泳ぐ前日には

- 耳垢をきれいに掃除する
- 手足の爪を切る
- 睡眠をよくとる

こんな症状が見られる時はプールに入れません

- 顔色が悪い
- 熱がある
- 目が充血している
- だるそうにしている
- 腹痛又は下痢をしている
- 病気になる（心臓病、伝染病、目・耳・鼻の病気など）



プールでうつる病気

- プール熱
- はやり目
- 水いぼ

【おわりに】

もうすぐプール開きですが、免疫力が低下している時には“プールでうつる病気”にかかりやすくなります。楽しいプールあそびができるよう、健康管理に注意し、朝ごはんをしっかり食べて元気に登園しましょう！！